



# ひびき 南山田小学校だより

Letter of the M.Y. elementary school

～ ともだちいっぱい かがやく子 ～

学校通信 NO.286  
令和元年度 1月号  
令和2年 1月 7日

## ～ 2020年！新しい年の始まりです！

校長 佐藤 康晴

令和2年！新しい年が始まりました！子どもたちが暮らすそれぞれの街の新年の始まりは、穏やかな日差しに包まれ、青空も広がる心地よい日となりました。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本校の教育活動に多大なご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。今年も、教職員一同、全力で、南山田小の子どもたちのために努力してまいります。昨年同様に、皆様のご支援とご協力をいただければ幸いです。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年の子年になります。そこで子年について調べてみると、「子・丑・寅・卯・辰・巳・・・」で分かるように、十二支の始まりの年ですが、どうも動物とはあまり関係がないようで、東西南北などの方角に漢字をあてはめていったとの説がありました。しかし、動物に例えたことで、江戸時代の民衆の間では、年回りや時刻を表すのに便利に使われるようになり、我々の暮らしに浸透していったようです。

子年は、十二支の始まりの年であることから、何かを始めるのには運気がよい年だそうです。また、子＝ねずみと読むことから、「ねずみ算」という言葉があるくらい子どもをどんどん増やしていくことから、「子孫繁栄」の年とも言われているようです。

これまでの子年を振り返ってみると、五つ前の子年、1960年は、カラーテレビの本放送がスタートし、当時は、「三種の神器」と呼ばれ、まだまだ高価だった、白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫などの今では馴染みの家電製品が、みんなの暮らしに普及してきた頃で、更に、天皇家に徳仁親王が誕生されたこともあり、カラーテレビがもの凄く売れたそうです。1972年には、田中角栄首相が訪中し、中国の周恩来首相と会談し、「日中共同声明」に署名したことによって、長い間断絶していた国交が回復し、又、アフリカの多くの国が一斉に独立を果たした「アフリカの年」とも呼ばれています。最近では、2008年の子年に、日本人として最多の4人の博士が（南部陽一郎博士、小林誠博士、益川敏英博士、下村修博士）ノーベル賞を受賞をするなど、子年に相応しく、やはり運気がよい年になったようです。

今年の子年も、子どもたち、保護者の皆様並びに地域の皆様にとって、子年に相応しく、運気に恵まれたよい年になりますようお願いしております。そして、保護者の皆様並びに地域の皆様と共に、「南山田の子どもたち」を育てていきたいと思っております。どうぞ、本年もまた保護者の皆様、地域の皆様のご理解並びにご支援・ご協力をいただきましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。